

東日本大震災のこと

今から10年以上前、東日本大震災が発生しました。

東北地方を中心に、大きな地震と津波が生じ、そして、原子力発電所の事故が起きて、大勢の人が犠牲になり、平穏な暮らしが奪われました。

▶ 発生日時

平成23(2011)年
3月11日 14時46分

▶ 震源

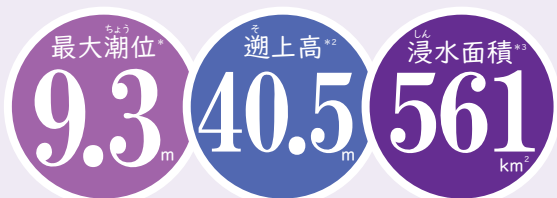
東北地方 太平洋沖

▶ 地震の大きさ



* 地震の規模(きば)を表すもの。

▶ 津波の規模



* 福島県相馬市。
*2 全国津波合同調査グループによるもの。
*3 東京ディズニーランド約1,200個分に相当。青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉県の計。

▶ 被害状況



* 災害関連死を含む。令和5年3月9日現在。
*2 令和5年3月9日現在。

伝承施設に行ってみよう

次にくる大地震・巨大津波や毎年のように日本列島に上陸する猛烈な台風や豪雨などから、自分の命をどうやって守れば良いのでしょうか。

「100回逃げて、
100回来なくても、
101回目も必ず逃げて！」

これは、東北地方の被災地のある石碑に書かれた、中学2年生の言葉です。

私たちは危険が迫っていても、つい「これまでも大丈夫だったから、今回も大丈夫。ここは安全だろう」と思いたくなります。

もう一度、中学生の言葉を読んでみましょう。

東北には、この石碑のように、東日本大震災のことや、大災害への備えを教えてくれる場所がいくつもあります。津波で壊された小学校や映像・写真の展示があり、自らの体験を伝えてくれる語り部の方がいます。

こうした伝承施設を訪れて、災害を知り、防災を学ぶとともに、ガレキの中から立ち直った人々の力と東北の魅力を感じて、自分が災害にあったら、何ができるのか考えてみましょう。

伝承施設についてもっと知りたいときは、こちら！



- ▶ 4県の75施設を紹介
- ▶ 被災地のモデルコースを紹介
- ▶ 同内容をWEBにも掲載



<https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-22/densyo-guide.html>

写真の出典 表紙：(上から)大槌(おおつち)町、東日本大震災アーカイブ宮城、福島県
中面：(左下) (株)かまいしDMC、(右上) 平塚 芳和 (ひらつか よしかず) さん「NEW START ONAGAWA!」

令和5年10月 復興庁復興知見班 制作

あなたは東日本大震災を知っていますか？

あの日、何が起こったのか

ー 以下は、震災当時、中学生だった川崎さんの体験談です。川崎さんは、進学のため一度は釜石市（岩手県）を離れましたが、今はふるさとに戻り、私達に東日本大震災のことを伝えています。



私は**中学2年生**で、
先輩たちの**卒業式**を何日か後に控えた日でした。

そのときは**部活**中でした。
震災直後、恋の峠まで避難しました。

津波で建物が流される様子が見えました。

その日のうちに、9キロ先の**天神町**にある**廃校**まで向かいました。

通りがかった**ダンプカー**に乗せてもらって、
運転手さんは、何往復もしてくれました。

廃校の体育館は、**避難**してきた人たちで**ギュウギュウ**詰め。
体育座りしているしかない状況。床は固く、**暖房**もない。
ボロボロで**天井**が落ちてくるんじゃないかと思いました。

その日は友達と外で過ごしました。

雪が降っていたけど、近所の人たちがたき火をしてくれたから、
外の方がかえて暖かかったかも知れません。

悲しみに暮れている人や絶望を感じている人、過呼吸になる子もいました。
余震が何回もきて、そのたびに心が苦しそうな子もいました。

私は、津波が来たことはどうしようもないし、
時間は巻き戻せないと思って、

これからは頑張る以外に選択肢がありませんでした。

ー いのちをつなぐ未来館（岩手県釜石市）川崎 杏樹

被災者・被災地のいま

震災の影響により、全国で**最大47万人**の避難者が発生、子どもたちについても最大で**25,751人**が別の学校に通うことになりました。

それでも、被災した人々を支え、まちをつくりなおすために、全国から**700万人以上**のボランティアが集まるなど、行政・民間が一体となって復興に取り組みました。

震災から10年以上が経ち、地震・津波の被災地域では、住まいの再建やインフラ整備は概ね完了し、ものづくりなどの経済活動も震災前の水準に戻ってきています。

しかし、原子力発電所事故の影響を受けた地域では、まだふるさとに帰れない人たちがいます。

これからも皆が手を取り合って、復興に向けた取組を進めていく必要があります。

つなぐ、
繋ぐ、
未来へ



魅力あふれる福島のこと。
知らずにいた放射線のこと。
福島の今についてもっと
知りたいときは、こちら！

福島の今

<https://www.fukko-pr.reconstruction.go.jp/2018/fukushimanoima/>

災害大国日本、これからのために

東日本大震災クラスの大地震・巨大津波は**今後も必ず起こる**と予測されています。

日本の災害で最大の被害が発生した**関東大震災**が発生したのは1923年、今から**ちょうど100年前**でした。

さらに甚大な被害が見込まれている「南海トラフ地震」は、概ね**100～150年間隔**で繰り返し発生しています。今後**30年以内**に発生する確率は**70～80%**と予測されています。

さて、皆さんは、**50m**を何秒で走りますか。
一番足の速い人でも**6秒**台でしょうか。

津波は、沖合ではジェット機並みのスピード、海岸近くでも**50m**を**5秒**のスピードで襲ってきます。
津波が見えてから逃げ出しても、なかなか逃げ切れるものではありません。

命を守るために、どうしたら良いか、普段から考えておくことが重要です。

